

表2 糖尿病受診中断対策マニュアル

受診中断を防ぐための対策

- ・初診の糖尿病の患者に、継続的に受診が必要であることを伝える。
- ・栄養指導、療養指導は受診中断の減少に有効である。
- ・若年者などで時間にゆとりがない場合は、可能な範囲で受診時間の融通性を高くする。
- ・インスリンの自己注射が指示どおり行われず残っている、または、きちんと薬剤が内服されず残薬がある場合には、医療費が経済的に負担である可能性を考慮する。
- ・医療費が経済的に負担である場合は、より薬価の低い薬剤や後発医薬品を考慮する。
- ・薬剤を中止できそうな場合も、その後の受診中断の可能性を考慮して慎重に判断する。
- ・受診中断者への受診勧奨を行う。電話、郵便物はいずれも同程度に有効である。
- ・受診中断者への問い合わせと受診勧奨は、医療保険者や産業医等、直接に診療に当たらない第三者も実施する。
- ・過去に受診中断した人には受診中断した理由を尋ねる。

厚生労働省の研究班「糖尿病予防のための戦略研究課題2」
－かかりつけ医による2型糖尿病診療を支援する
システムの有効性に関する研究(J-DOIT2)－より抜粋